



神戸大学大学院人間発達環境学研究科 ヒューマンコミュニティ創成研究センター サテライト施設「のびやかスペースあーち」

[illegible]

新しいプログラム紹介

居場所づくり企画 ～フォトデコ Photo Deco～

みなさんは、撮った写真をどうしていますか？
パソコンや箱に入れたままなんて、もったいない！
写真を楽しくデコレーションするフォトデコで
思い出を飾りましょう。今回はフォトフレームを作ります。
お気軽にご参加ください。

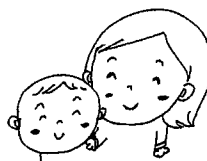
日時：6月11日(金)15:30～17:00 場所：あーと あーち

対象年齢：おとなも、子どもも

持ち物：あればL判写真1～2枚。

お手持ちの写真がない方でもご参加できます。

それぞれの子育て事情
～中国編～



中国から来た留学生の盛敏です。この春から神戸大学人間発達環境研究科で勉強しています。最初「子育て支援」という言葉を聞いた時、「それってどういうことなのだろう」と疑問を持ちました。そして、毎週金曜日に「あいち」に来て様々な親子とふれあうことで少しずつその意味が分かってきました。

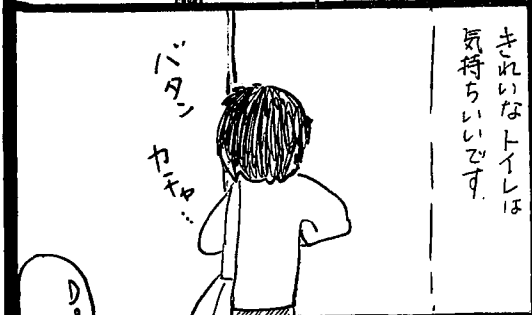
日本の母親は、子どもを産んだ後ほとんどのの方が退職して、一生懸命 子育てをしています。子どもと家の中でずっと二人きりしていると、地域から孤立し、子育ての悩みや不安などを抱えることがあります。それらを軽減するために各地域では「子育てひろば」という事業が行われています。「あーち」もそのひとつです。

「ひろば」では、子ども同士で遊んでいるうちに、子ども自身が様々なことを学ぶこともできます。一方、中国の事情はずいぶん違います。中国の母親はほとんどが仕事をもっています。結婚しても、あるいは子どもが生まれても、仕事を続けるということは当たり前のことです。ですから、中国では、子どもが生まれてから半年間、母親は仕事を休みます。その後は、子どもを保育園に行かせるか、または両親に家にきてもらい子どもの面倒を見てもらいます。ちなみに、中国の幼稚園は朝8時から夕方6時までです。また休みの日には子どもを連れていろいろな教室へ通います。これが中国の一般的な子育ての状況です。子育て支援という事業は少ないです。日本のような子育て支援は子どもの成長過程でとても必要なことだと考えています。

これから、保護者や子どもさんと交流し、学んでいきたいと思います。

また、何か、皆さんのお役に立つことができれば幸せです。よろしくお願いします！

えんじえる君 by Bon





6月予定表

		こらぼあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	火	ほっと（予約制） 10時30分～		おひさまひろばあーち 午前中
2	水			
3	木			
4	金	居場所づくり 3時～6時		
5	土		べたペタ、あーと（予約制） 11時～	
6	日	休館		
7	月			
8	火	ほっと（予約制） 10時30分～		おひさまひろばあーち 午前中
9	水	ほのぼの音ランド 11時～	おりがみあそび 2時30分～	
10	木	ひまわりの会 10時30分～2時30分	筆をもとう 1時～2時30分 めだか親子クラブ 3時～	
11	金	居場所づくり 3時～6時（フォトデコ Photo Deco 3時30分～5時30分）		
12	土	0歳児/パパママセミナー（予約制） 10時30分～12時/高校生の赤ちゃんふれあい体験学習 10時30分～12時 1・2歳児のパパママ交流会 1時30分～3時		
13	日	休館		
14	月			
15	火	ほっと（予約制） 10時30分～		おひさまひろばあーち 午前中
16	水	親子わらべ歌あそび 11時20分～		
17	木		あーち通信編集会議 10時30分～	
18	金	はこべらの会 10時30分～1時 居場所づくり 3時～6時	アートセラピー 3時～	布おもつ交流会 11時～
19	土	ぽっとらっく（予約制）		紙芝居 11時～
20	日	休館		
21	月			
22	火	ほっと（予約制） 10時30分～		おひさまひろばあーち 午前中
23	水			おしゃべりほっとタイム 11時～
24	木		筆をもとう 1時～2時30分 めだか親子クラブ 3時30分～	ベビーマッサージ 11時～（はいはい頃）
25	金	居場所づくり 3時～6時/らくがきおばさんがやってきた 3時～5時		
26	土	音楽の広場 1時30分～3時 おはなしの国 3時～		
27	日	休館		
28	月			
29	火	ほっと（予約制） 10時30分～		おひさまひろばあーち 午前中
30	水			ベビーマッサージ 11時～（ねんね頃）

- ・太字のプログラムは今月の特別プログラムです
- ・どのプログラムも参加（見学）することができます
- ・プログラムへの参加年齢の制限はありません
- ・詳しくは受付までお問合せください

予約は事前に
確認してから
参加してね♪



ふらっとあーち

授乳室	ふらっと (ドロップイン) 毎日 10 時半～16 時半 ふらっと相談員 火曜 午前中 保育士 午後 灘区子育て支援コーディネーター 水曜 午前 助産師 (不定期) 発達臨床心理士 (月 1 回程度) NPO 法人マザーズサポーター協会 (第 4 水) 木曜 午前 助産師 (不定期) 金曜 午後 灘区子育て支援コーディネーター 土曜 助産師 おひさまひろばあーち 保育士さんによる親子遊び 火曜 午前中 15～20 分 紙しばい 人形劇 ベビーマッサージ 布おむつ交流会	く つ ば こ	受 付
	あーとあーち 情報 コーナー		

<造形プログラム>
アートセラピー
らくがきおばさんがやってきた
 <いろいろな遊びを教えてください>
めだか親子クラブ おい紙遊び
 習字を始めませんか **筆をもとう**

画 材 道 具



こらぼあーち

<音楽系プログラム>
音楽の広場 ほのぼの音ランド
親子わらべ歌あそび (まめっちょわらべうた)
あーち DE よさこい (みんなで踊ろうよ!)
 <その他>
おはなしの国 (絵本のよみきかせ)
 <学習会>
 自閉症児への支援と理解を深める学習会
ほっと学習会
 思春期の子育てを考える会 **はこべらの会**
 不登校問題を考える会 **ひまわりの会**

<予約制のプログラム>
 発達障害がある子どもの親向け **ほっとらくく**
 発達障害児支援プログラム **ほっと**
 障害児者のための **居場所づくり**
0歳児のパパママセミナー
 & 高校生の赤ちゃんふれあい体験学習
1&2歳児のパパママ交流会

あーちのルール

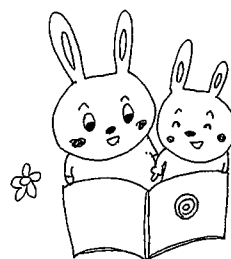
- ☆ふらっとあーち・あーとあーち・こらぼあーちのプログラムに参加できます
- ☆飲食は情報コーナー (終日) か、ふらっと (12時～13時) でできます
- ☆オムツやゴミは必ず持ち帰りましょう ☆託児の機能はありません

あーとあーち・こらぼあーちについて

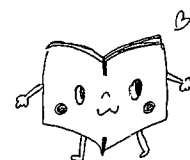
- ☆プログラムのないときでも自由に使えます
- ☆就学前のお子さんが遊ぶときは保護者の付き添いが必要です
- ☆使い終わった画材道具や本は、もとの場所に戻しましょう
- ☆らくがきおばさんがやってきた、アートセラピーは汚れてもいい服でおこしください



『よるくま』
酒井駒子
偕成社



* 絵本の
 * せかいへ
 ようこそ



「ママ あのね…… あのね きのうのよるね」
 ベッドに入り、ママに見つめられながらぼくが語りはじめたのは
 昨日の夜、ぼくのところにやってきたくまの子 **よるくま** のお話。
 「おかあさんがいなくなった」と言って泣き出した **よるくま** のため
 ぼくは **よるくま** のおかあさんを探しに出かけます。
 二人は暗い夜の中、手を取り合って様々な所を探し回りますが…。
よるくま の可愛らしさと優しいストーリーに心温くなる素敵な絵本です。

(川口)

学生さんによる

「あーち」人形劇の取材

とつげき!! ママ隊

番外編!

「あーち」では、2か月に1回、ボランティアグループによる人形劇がおこなわれています。

5月8日(土)は、人形劇団「かぶとむし」の主催で人形劇やペープサーなどを披露してくださいました。

見に来てくださった方、ありがとうございました。人形劇が終わった後、見に来てくださった方々にインタビューをしました。ママだけではなく、子どもたちにも色々な感想を聞かせていただきました。

皆さま、ご協力ありがとうございました!

<ママたちの感想>

9カ月の子どものママ : 初めて、「あーち」で人形劇を見ました。雰囲気が良かったです。生演奏なので人形にふれたり、演者さんとふれあえたりしてすごく良かったです。

1歳と3歳の子どものママ : 人形劇の世界に入って、子どもも集中していました。

2歳の子どものママ : 東京に住んでおり、今回実家に帰った時に、商店街で「あーち」のチラシを見ました。手遊びが好きなので、見に来ました。楽しかったです。また、機会があれば来ます。

2歳の子どものママ : 今回が2回目です。去年見に来た時は、子どもがまだ1歳で、わからなくて遊んでしまいました。今回は、ずっと集中して見ていました。

3歳の子どものママ : 歌や物語は知っているものだったので、わかりやすかった。見に来ていた子どもたちの年齢はそれぞれ違いましたが、みんなが一緒に楽しめる場だと思いました。

<子どもたちの感想>

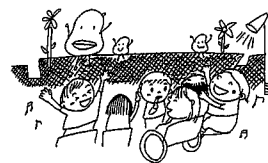
「やぎのが楽しかった」(4さい) 「お人形が楽しかった」(3さい) 「オオカミ、こわかった」(3さい)

「メエメエがおもしろかった コンコンもおもしろかった」(2さい) 「お人形が良かった 楽しかった」(2さい)

「やっと終わった かぶと虫が泣いていたところがおもしろかった」(7さい)

「2匹のヤギがおもしろかった 2匹のヤの性格がちがうので、兄弟みたいだった」(9さい)

「ヤギがオオカミにたべられるのでおもしろかった」(11さい)



私も一時間、楽しく過ごしました。演奏途中で、演者は子どもとともに、動いたり、歌ったり、握手したりしていました。そのことを通じて、子どもを人形劇の世界に早めに入り込ませ、それによって子どもの積極的な参加を得られたのだと思います。

ある1歳の子どもさんの様子は、おもしろかったですよ! 人形劇の内容がわからないのか、あちこちに行ったり、遊んだり。ママたちは、その子がけんかをしないようにと、自然にその子に目を向けていました。みんな家族のようだなと感じました。そして人形劇を見ることがきっかけとなり、みんな相互に支えることができたのだなと思いました。

今回は一人だけパパが来られていました。思ったよりパパの参加が少なかったです。残念ながら、パパへのインタビューできませんでした。障害のある子どもたちも来ていました。みんなと一緒に参加することができて良かったと思います。

<取材: 盛 取材協力: 田中 ぼらぼん(松井 矢野)>

